令和元年度第１６回

地域連携推進機構運営会議（メール会議）　議事次第

日　時：令和元年１２月２３日（月）（メール送信日）～１２月２４日（火）（意見等期限日）

【議題】 ＜審議事項＞	資料番号
１　プロジェクトシート１２月確認	審議１

〇審議１資料

・審議１_プロジェクトシート（様式２）計画 26～30

※参考資料

・　地域連携推進機構運営会議 委員名簿（令和元年１１月１１日時点）（参考資料１）

※今後の日程

・第１７回 … １月６日～８日で調整中

・第１８回 … １月２０日（月）　１０：００～１２：００　於：本部管理棟 ２階 第二会議室

・第１９回 … ２月１０日（月）　１０：００～１２：００　於：本部管理棟 ２階 第二会議室

・第２０回 … ３月　９日（月）　１０：００～１２：００　於：本部管理棟 ２階 第二会議室

第３期中期目標・中期計画の達成推進用（大学本部）

平成３１年度プロジェクトシート【進捗管理】
大学本部とりまとめ記載用

中期目標 中期計画 年度計画	中期目標	7	地域の産学官が保有する多様な資源を活かし、地域を志向した教育研究を推進する産学官協働の仕組を構築し、地域社会の発展に貢献する人材を育成する。
	中期計画	26	地域の企業や自治体等のニーズに応えた人材を育成するため、地域志向のプログラムや地域創生科目の拡充を進める。また、COC事業やトビタテ留学JAPAN等の地域協働事業の展開を通して、本学が育成する人材の地元定着化に取り組む。
	年度計画	26	地域のニーズに応える人材を育成するため、知のふるさと納税事業など地域人材育成プログラムを実施するとともに、全学的な地域創生科目を拡充する。また、地域振興・地域定着プロジェクト（COC+）及びトビタテ留学JAPAN 地域人材コースに取り組む。

【年度計画進捗管理】

年度取組	対応部局	期限	確認項目番号
・地域志向教育推進プロジェクトの実施	地域連携推進機構／各部局	通年	①
・地域志向プロジェクトの実施	地域連携推進機構／各部局	通年	②
・地域創生科目の拡充、深化を図る	地域連携推進機構／各部局	通年	③
・地域協働事業の拡充、深化及びトビタテ留学ＪＡＰＡＮの実施	地域連携推進機構／各部局	通年	④
・地域協働事業に参加する学生が拡充する取組を実施	地域連携推進機構／各部局	通年	⑤

取組の確認項目（評価指標含む）	８月確認 確認欄	８月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	１２月確認 確認欄	１２月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	具体的事項（進捗状況）
地域志向教育推進プロジェクトを実施したか	実施した	Ⅲ	実施した	－	平成31(令和元)年度 地域志向活動トライアル経費による正課科目のおける地域志向取組の学内公募を行った。18件の応募があり、審査の結果8件の取組を採用した。また、COC+事業として、正課外地域実践教育プロジェクトを学内公募し、３件を採択した。
地域志向プロジェクトを実施したか	実施した	Ⅲ	実施した	－	地域共創型学生プロジェクト「ちゅらプロ」を学内公募し、１件を採択した。また、琉大サテライトイブニングカレッジ（RSEC）の前期の講義を首里公民館にて開催した。
地域創生科目の拡充や深化を図ったか	実施した	Ⅲ	実施した	－	既設の科目を継続して開講するとともに、新たに「グローカル実践演習」を開講し、日本人学生、留学生、地域の高校生との共同演習として実施した。
・地域協働事業の拡充、深化及びトビタテ留学ＪＡＰＡＮを実施したか	実施した	Ⅲ	拡充した	－	新たに宜野湾市との連携で「地域づくり塾」を共催した。 トビタテ留学JAPANの地域人材コース「沖縄からアジアへトビタテ！留学JAPANプロジェクトの募集及び審査を行い、派遣留学生の決定をした。
地域協働事業に参加する学生が拡充したか	拡充した	Ⅲ	拡充した	－	新規科目の開講や地域協働事業の開始により参加学生が増加した。

推進責任者によるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

評価センター・IRによるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

【４月　３１年度計画の評価】

４段階評価 ※Ⅳ～Ⅰの４段階評価、通常はⅢ	－	年度計画の成果	－

年度取組	成果（可能な限り数値や具体的な実績等を示してください）	評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）
・地域志向教育推進プロジェクトの実施	－	－
・地域志向プロジェクトの実施	－	－
・地域創生科目の拡充、深化を図る	－	－
・地域協働事業の拡充、深化及びトビタテ留学ＪＡＰＡＮの実施	－	－
・地域協働事業に参加する学生が拡充する取組を実施	－	－
エビデンス	－	

中期計画における進捗状況 ※中期計画達成を100%とした場合	－
次年度以降に持ち越す取組むべき課題	－
中期計画達成のために 新たに追加または修正すべき取組	－

平成３１年度プロジェクトシート【進捗管理】
大学本部とりまとめ記載用

中期目標 中期計画 年度計画	中期目標	7	地域の産学官が保有する多様な資源を活かし、地域を志向した教育研究を推進する産学官協働の仕組を構築し、地域社会の発展に貢献する人材を育成する。
	中期計画	27	教育研究の成果を踏まえ、サテライトキャンパスを活用した学習コミュニティづくりを強化し、多様な学習ニーズに基づく学習機会や学び直しの充実を図り、地域社会を支える人材の質の向上に繋がる取組を行う。
	年度計画	27	サテライト配信する公開講座と公開授業を充実させ、出前講座や教育プログラムを提供する。

【年度計画進捗管理】

年度取組	対応部局	期限	確認項目番号
・公開講座及び公開授業の実施	地域連携推進機構／各部局	通年	①
・教育プログラムの提供	地域連携推進機構／各部局	通年	②
・配信による公開講座及び公開授業の実施	地域連携推進機構／各部局	通年	③
・出前講座の実施	地域連携推進機構／各部局	通年	④

取組の確認項目（評価指標含む）	８月確認 確認欄	８月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	１２月確認 確認欄	１２月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	具体的事項（進捗状況）
・公開講座及び公開授業を実施したか	実施した	Ⅲ	実施した	－	公開講座を専門科目12講座、一般科目33口座を実施した。また、公開授業の前期として37科目を実施し、後期として46科目を実施している。
・教育プログラムの提供を実施したか	実施した	Ⅲ	実施した	－	同上
・配信による公開講座及び公開授業を実施したか	実施した	Ⅲ	実施した	－	公開講座として「心理リハビリテーション・ボランティア養成講座」「沖縄の公害問題で考える平和学習」のサテライト配信を行った。 また、公開授業として「海洋の科学」「天体観測を通して学ぶ宇宙」「星空案内人養成講座」の配信を行った。
・出前講座を実施したか	実施した	Ⅲ	実施した	－	公開講座「やんばるで学ぶ世界自然遺産学習」ほか5件の出前講座を実施した。
	－	－	－	－	－

推進責任者によるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

評価センター・IRによるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

【４月　３１年度計画の評価】

４段階評価 ※Ⅳ～Ⅰの４段階評価、通常はⅢ	－	年度計画の成果	－

年度取組	成果（可能な限り数値や具体的な実績等を示してください）	評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）
・公開講座及び公開授業の実施	－	－
・教育プログラムの提供	－	－
・配信による公開講座及び公開授業の実施	－	－
・出前講座の実施	－	－
	－	－

エビデンス	－
中期計画における進捗状況 ※中期計画達成を100%とした場合	－
次年度以降に持ち越す取組むべき課題	－
中期計画達成のために 新たに追加または修正すべき取組	－

平成３１年度プロジェクトシート【進捗管理】
大学本部とりまとめ記載用

中期目標 中期計画 年度計画	中期目標	7	地域の産学官が保有する多様な資源を活かし、地域を志向した教育研究を推進する産学官協働の仕組を構築し、地域社会の発展に貢献する人材を育成する。
	中期計画	28	地域産業の振興を担うグローカルな人材を育成するため、地域の他機関が連携する沖縄産学官協働人財育成円卓会議（県内企業、経済団体、高等教育機関、沖縄県、内閣府沖縄総合事務局等）と連携して、地域づくりのための人材養成プログラム、産学官コーディネータ等の産業振興を担う高度専門職養成プログラムや地域行政を担う自治体職員能力強化プログラム等の目的別プログラムを開発して実施する。また、沖縄産学官協働人財育成円卓会議を活用し、受講者のキャリアアップに繋がる客観的な地域認証システムを構築する。
	年度計画	28	沖縄産学官協働人財育成円卓会議と地域連携推進機構及び各部局等が連携し、目的別プログラム（認証プログラムも含む）を実施する。また、昨年度認証された初級地域公共政策士取得のためのプログラムを実施し、受講者のキャリアアップに資する仕組み作りに向けた検討を開始する。

【年度計画進捗管理】

年度取組	対応部局	期限	確認項目番号
・目的別プログラムの開発・実施	地域連携推進機構／各部局	通年	③
・円卓会議等を活用した地域認証システムの構築（受講者のキャリアアップに資する仕組み作り）に向けた検討	地域連携推進機構	通年	⑤
・地域社会の発展に貢献する人材の育成	地域連携推進機構／各部局	通年	⑥

取組の確認項目（評価指標含む）	８月確認 確認欄	８月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	１２月確認 確認欄	１２月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	具体的事項（進捗状況）
目的別プログラムの開発・実施したか。	実施した	Ⅲ	実施した	－	8月確認：4月～8月までの間に、3件の目的別人材育成プログラムを実施した。9月以降、14件を実施予定である。 12月確認：9月～12月中旬時点で、13件の目的別人材育成プログラムを実施した。12月24日からは「社会的インパクト投資概論」を公開授業として実施する。
・円卓会議等を活用した地域認証システムの構築（受講者のキャリアアップに資する仕組み作り）に向けた検討したか。	検討した	Ⅲ	検討した	－	8月確認：沖縄産学官協働人財育成円卓の元に設置したWGで開発した目的別人材育成プログラムのうち、６科目が一般財団法人地域公共人材開発機構の資格制度「初級地域公共政策士」の認証科目に認定された。認定された科目は、後期の公開授業として地域の社会人を受け入れ、初級地域公共政策士の資格取得を目指している。 12月確認：10月より、「初級地域公共政策士」の認証科目に認定された６科目について公開授業として募集を開始し、21名の社会人を受け入れ、初級地域公共政策士の資格取得を目指している。
目的別プログラムに何人が受講したか。	受講した	Ⅲ	受講した	－	8月確認：以下3件のプログラムを計17名（学生6名、社会人 11名）が受講した。 ①地域企業(自治体)お題解決プログラム ②政策立案能力基礎プログラム ③IoTシステムセキュリティ実践講座 12月確認：以下13件のプログラムを計〇名（学生〇名、社会人196名）が受講した。 ①地域企業(自治体)お題解決プログラム（後期） ②ブロックチェーン行政業務コース ③キャリアデザインとジェンダーⅡ ④クラウドファンディング実践講座 ⑤星空案内人養成講座 ⑥地域子ども総合支援者基礎講座 ⑦地域子ども総合支援者養成講座 ⑧地域の子どもを支援するインクルーシブ教育推進人材の育成プログラム ⑨政策立案能力強化プログラム ⑩地域円卓会議マネジメントの技法と実践 ⑪ブロックチェーンテクノロジーコース基礎編 ⑫ファシリテーションの技法と地域振興 ⑬ソーシャルキャピタル構築講座(島マス記念塾 in 琉大)
	－	－	－	－	
	－	－	－	－	－

推進責任者によるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

評価センター・IRによるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

【４月　３１年度計画の評価】

４段階評価 ※Ⅳ～Ⅰの４段階評価、通常はⅢ	－	年度計画の成果	－

年度取組	成果（可能な限り数値や具体的な実績等を示してください）	評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）
・目的別プログラムの開発・実施	－	－
・円卓会議等を活用した地域認証システムの構築（受講者のキャリアアップに資する仕組み作り）に向けた検討	－	－
・地域社会の発展に貢献する人材の育成	－	－
	－	－
	－	－

エビデンス	－
中期計画における進捗状況 ※中期計画達成を100%とした場合	－
次年度以降に持ち越す取組むべき課題	－
中期計画達成のために 新たに追加または修正すべき取組	－

平成３１年度プロジェクトシート【進捗管理】
大学本部とりまとめ記載用

中期目標 中期計画 年度計画	中期目標	8	沖縄の産業活性化及び持続的な自立型経済の実現に向って、学術的基盤に立脚して地域社会が抱える課題の解決や産業振興に資する取組を推進し、「行動するシンクタンク」として地域再生・活性化に貢献する。
	中期計画	29	「行動するシンクタンク」として地域コーディネータ機能を強化するため、地域連携推進機構に交流人材センター（仮称）を設置し、企業経営や行政運営の改善に関する専門人材を配置するとともに、企業や自治体等との連携体制を構築する。
	年度計画	29	専門人材を活用し、地域コーディネート機能を強化し、学内と企業・自治体等との連携体制を構築し、シンクタンク機能の強化を図る。

【年度計画進捗管理】

年度取組	対応部局	期限	確認項目番号
・交流人材プラットフォーム(交流人材バンクを運用）への交流・登録者(専門人材)の配置の継続	地域連携推進機構／各部局	通年	⑤
・交流・登録者を活用し、学内と企業、行政機関等との連携体制の構築	地域連携推進機構／各部局	通年	⑥

取組の確認項目（評価指標含む）	８月確認 確認欄	８月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	１２月確認 確認欄	１２月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	具体的事項（進捗状況）
交流人材プラットフォーム（交流人材バンクを運用）に交流・登録者（専門人材）を登用・登録したか。	実施した	Ⅲ	－	－	8月確認：令和元年度後学期から「初級地域公共政策士」資格取得のための科目履修プログラムを社会人向けに開講し、年度内の社会人資格取得者の輩出を予定している。そのため、これら資格取得者の登録及び交流の場となる「地域公共人材プラットフォーム」の設置を目指している。 12月確認：「初期地域公共政策士」のプログラムにより人財の輩出及び学長による「イノベーションの先導に向けた体制の見直しに向けて」の方針に基づき、研究推進機構と地域連携推進機構の組織を見直し、次年度以降、地域連携推進機構に「地域共創人材バンク（仮称）」の設置、運用を目指している。
交流・登録者を活用し、学内と企業・自治体等との連携体制を構築し、シンクタンク機能の強化を図ったか。	実施した	Ⅲ	－	－	8月確認：「地域公共人材プラットフォーム」に調査研究や研修実施機能等を拡充することで、本学と企業・自治体等との永続的な連携体制を構築し、シンクタンク機能の強化を目指している。 12月確認：次年度以降、地域連携推進機構に「地域共創人材バンク（仮称）」を設置し、バンクに登録している学内外の人材が、専門部会を舞台に、地域の求める人財輩出のための仕組みづくりへの参画、教育プログラムの開発・実践を行うことを目指す。
	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－

推進責任者によるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

評価センター・IRによるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

【４月　３１年度計画の評価】

４段階評価 ※Ⅳ～Ⅰの４段階評価、通常はⅢ	－	年度計画の成果	－

年度取組	成果（可能な限り数値や具体的な実績等を示してください）	評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）
・交流人材プラットフォーム（交流人材バンクを運用）への交流・登録者（専門人材）の配置の継続	－	－
・交流・登録者を活用し、学内と企業、行政機関等との連携体制の構築	－	－
	－	－
	－	－
	－	－

エビデンス	－

中期計画における進捗状況 ※中期計画達成を100%とした場合	－
次年度以降に持ち越す取組むべき課題	－
中期計画達成のために 新たに追加または修正すべき取組	－

平成３１年度プロジェクトシート【進捗管理】
大学本部とりまとめ記載用

中期目標 中期計画 年度計画	中期目標	8	沖縄の産業活性化及び持続的な自立型経済の実現に向って、学術的基盤に立脚して地域社会が抱える課題の解決や産業振興に資する取組を推進し、「行動するシンクタンク」として地域再生・活性化に貢献する。
	中期計画	30	地域の産業振興を推進するため、沖縄産学官連携推進協議会等と連携し、企業ニーズを掘り起こし、本学の研究成果とのマッチングを行い、沖縄の産業振興に寄与する共同研究等を推進する。
	年度計画	30	地域連携推進機構において、地域や企業のニーズと本学の研究成果とマッチングを行い、沖縄の産業振興に寄与する共同研究等を推進する。また、ベンチャー創出に向けた取組を行う。

【年度計画進捗管理】

年度取組	対応部局	期限	確認項目番号
研究シーズの学内外への発信等	地域連携推進機構／各部局／研究支援機構	通年	②
本学研究シーズと地域・企業ニーズのマッチング	地域連携推進機構／各部局／研究支援機構	通年	③－1 ③－2
沖縄の産業振興に寄与する共同研究等の推進	地域連携推進機構／各部局／研究支援機構	通年	④－2

取組の確認項目（評価指標含む）	８月確認 確認欄	８月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	１２月確認 確認欄	１２月確認 評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）	具体的事項（進捗状況）
研究シーズを学内外へ発信したか。	実施した	Ⅲ	実施した	Ⅲ	HPでの研究シーズ発信に加え、第4回農水産業技術展（6/19-20）、イノベーション・ジャパン2019（8/29-30）、アグリビジネス創出フェア2019（11/20-22）、新技術説明会（12/3）、エコプロ2019（12/5-7）に出展した。 工学部においては、工学部においては、工業連合会ニュースで定期的なシーズ紹介を実施し、また工学部後援会会員に対して、「研究最前線」を配布した。
地域ニーズ、企業ニーズと研究シーズとのマッチングをし、マッチング件数は増加したか。	増加した	Ⅲ	増加した	Ⅲ	企業からの相談について、URAとも連携しながらマッチングを行った。産学官金共同研究スタートアップ支援事業を実施し、現在12件の研究テーマを支援している。また、大学の有する知的資産を活用した琉球大学ブランド商品開発事業を実施し、現在、2テーマを支援している。 工学部においては、工学部後援会の参加企業と工学部との技術交流事業を開始した。 また、産学官連携部門HP等から問合せのあった企業と研究者を20件マッチングした。
マッチングの結果、契約（共同研究等）件数は増加したか。	増加した	Ⅲ	増加した	Ⅲ	企業からの相談について、URAとも連携しながらマッチングを行い、共同研究契約を2件締結した。
沖縄の産業振興に寄与する共同研究数・受託研究数は増えたか。	増加した	Ⅲ	増加した	Ⅲ	URAとも連携しながらマッチングを行い、沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業（出口志向型）へ申請、採択された。（採択件数：27年度～平成31年度合計32件） 沖縄の地域資源に着目した共同研究・受託研究を70件受け入れ、実施している。
	－	－	－	－	－

推進責任者によるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

評価センター・IRによるモニタリング	８月確認	－
	12月確認	－

【４月　３１年度計画の評価】

４段階評価 ※Ⅳ～Ⅰの４段階評価、通常はⅢ	－	年度計画の成果	－

年度取組	成果（可能な限り数値や具体的な実績等を示してください）	評価記入欄（Ⅰ～Ⅳ）
研究シーズの学内外への発信等	－	－
本学研究シーズと地域・企業ニーズのマッチング	－	－
沖縄の産業振興に寄与する共同研究等の推進	－	－
	－	－
	－	－

エビデンス	－
中期計画における進捗状況 ※中期計画達成を100%とした場合	－
次年度以降に持ち越す取組むべき課題	－
中期計画達成のために 新たに追加または修正すべき取組	－

参考資料１

地域連携推進機構運営会議 委員名簿

（令和元年１１月１１日時点）

	所属・職名	氏名	区分	備考
1	機構長 （理事・副学長（地域・社会連携担当））	牛窪（うしくぼ） 潔（きよし）	１号委員	議長
2	副機構長 兼 産学官連携部門長 （副学長・副理事（産学官連携担当））	竹村（たけむら） 明洋（あきひろ）	２号委員	議長代行
3	地域連携企画室長 （生涯学習推進部門　教授）	背戸（せと） 博史（ひろふみ）	３号委員	
4	生涯学習推進部門長 （生涯学習推進部門　教授）	背戸（せと） 博史（ひろふみ）	４号委員	
5	生涯学習推進部門　准教授	柴田（しばた） 聡史（さとし）	５号委員	専任教員
6	地域連携企画室　特命准教授	小島（こじま） 肇（はじめ）	６号委員	特命教員
7	地域連携企画室　特命准教授	島袋（しまぶくろ） 亮道（あきみち）	６号委員	特命教員
8	地域連携企画室　特命准教授	畑中（はたなか） 寛（ひろし）	６号委員	特命教員
9	産学官連携部門　教授 （工学部　教授）	瀬名波（せなは） 出（いずる）	７号委員	併任教員 (任期:2019年4月1日～)
10	産学官連携部門　教授 （理学部　教授）	眞榮平（まえひら） 孝裕（たかひろ）	７号委員	併任教員 (任期:2019年4月1日～)
11	総合企画戦略部長	新田（にった） 早苗（さなえ）	９号委員	
12	総合企画戦略部 地域連携推進課長	金城（きんじょう） 徹（とおる）	１０号委員	
13				
14				